

みんなの「なんな一?」を伝えるこども記者のための新聞(毎月1回発行)

信毎こども記者ニュース

発行/信濃毎日新聞地域活動部 〒380-8546 長野市南県町657 TEL.026-236-3110 FAX.026-236-3193 no.11

“音”で65年前を想像

こども取材教室

ラジオ、レコード、げた…古い音を取材 信毎こども記者クラブは17日、「音から想像する65年前」をテーマにしたこども取材教室を松本市立博物館で開きました。65年前まで続いた太平洋戦争の時の「空襲警報」や博物館にある古いラジオの

音を聞き、蓄音機で古いレコードの音楽も聞かせてもらいました。古いげたも実際にはいてみました。こども記者は、戦争の時にみんなと同じ小学生だった松本市の丸山年子さん(76)たちに取材して、記事を書いてみました。
*こども取材教室の内容は、4月25日付「こども新聞」でもこども記者が伝えています。



講師からのメッセージ
記者のみなさんがしっかりと書いて、私の話したことをきちんと受け止めてもらうことがうれしかったです。

松本市立博物館の展示説明ボランティア丸山年子さん(76)



蓄音機でレコードを聞かせてくれた岩原勝さん(66)
みんなは何になりたいですか? 思えば、きっとかかないます。君たちは、りっぱな新聞記者になれるよ。



松本市立博物館の学芸員一ノ瀬幸治さん(30)
昔使われていた物に興味が出たら、また博物館に来て、見て触ってもらいたいと思います。



次の取材教室は…

昔の少年雑誌で知る昔のこどもたち

5月15日(土) 13:30~16:30
会場=長野県立歴史館(千曲市)

5月15日(土) こども取材教室「昔の少年雑誌を開いてみたら」を開きます。会場の長野県立歴史館(千曲市)には、70~80年前の古いこども向け雑誌がたくさんあります。内容は漫画や小説、野球のルール解説など。それらの雑誌を実際に手に取って、当時のこどもたちがどんなものに関心を向けていたのか、どんな漫画が読まれていたのか、探ってみよう! 県立歴史館の専門家(学芸員)が取材にこたえてくれます。

【対象】原則小学4年生~6年生 ※会場への行きと帰りは保護者の人と一緒に来てね【定員】30人【参加料】無料【申込方法】郵便番号、住所、電話番号、名前(よみがなも)、保護者の人の名前、学年、信濃毎日新聞地域活動部「こども取材教室」あてに、ハガキ(〒380-8546 長野市南県町657)、ファクス(026-236-3193)で申し込んでね。【お問い合わせ】信濃毎日新聞地域活動部 TEL026-236-3110

申込はこちら

みんな最初は一年生

目への大事故、思わぬミスが…

入社して3カ月ほど過ぎた夏の深夜、「キキーツ」ドーン。大きな音で目が覚めました。アパートから近くの国道に出ると、助手席が大きくへこんだ車。赤信号を無視して交差点に突っ込んできた車にぶつけれられたらしい。しばらくすると救急車が駆け付け、助手席に座っていた女性が心臓マッサージを受けながら運び込まれました。

阿部貴徳記者

地城活動部の新部員金曜日ランニング担当

信号無視した運転手の男性は酒に酔っていて、その場で逮捕。突然の出来事に、無我夢中でシャッターを切り、現場で話を聞きました。途中病院に運ばれた女性が亡くなった1との知らせも、女性は当時20歳。こんな痛ましい事故が、こんな身近な場所でも起こるなんて…。取材を終え、原稿を書いた後もしばらく眠れませんでした。信号無視をした男性はその後、裁判にかけられます。実は、そこで大きな失敗をしてしまいました。判決の日、私はほかの仕事に夢中ですっかり裁判のことを忘れていたのです。「自分の家の前で起こった事故の取材を忘れるとは何ごとだ!」。翌朝、支社長に「うびどくし」からたのは言うまでもありません。